



みのり

No. 111

経営理念 Management Philosophy

花のように 優しく 誠実に

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし、地域・社会より愛され、認められる法人をめざし、社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

掲載内容

- 2 理事長“Column” 他
- 3 令和8年祈願式及び年始 他
- 4-5 第21回みのり村作品展 他
- 6 日出障がい福祉部礼拝堂耐震補強工事完成
第74回みのり村創立記念式及び永年勤続者表彰
- 7 インドネシア国技能実習生をお迎え 他
- 8 管理職向け理事長講話 他
編集後記

発行日

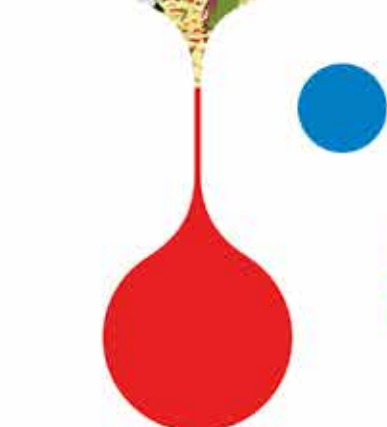
2026年3月

発行者

社会福祉法人 みのり村

印刷

(株)電子印刷センター





理事長 “Column”



令和 8 年 1 月 27 日に衆議院選挙が公示され、16 日間という史上最短の選挙が終わりました。今回は、自民党が大勝して、2 月 18 日に第 2 次高市内閣が発足しました。野党が消滅しかねない程小さくなる結果になり、政治バランスがとりにくく、政策協力が難しい政権になったと感じます。

この強い連立政権に No を言えるのは誰か？
我々、日本国民しかない！！

現政権の方向性は、アメリカの政権に似通ったところが多くなった感も否めない。

日本はこの国を向いて行こうとしているのか？
いろいろな考えが頭をよぎります。

昭和から 100 年が経過しました。現在まで世界を駆け抜けてきた日本からすると、“安泰”の二文字は遠い過去に思えます。社会福祉法人もその時々政治・政策に翻弄させられ、この不確実な世の中で、どこまで、持ち応えられるのか。会社の原動力である人手が不足している中では、資金の使い方も難しくなっています。人手不足の影響は地方に顕著に表れ、益々地方の停滞が加速してます。

強い者だけが生き残れる社会が、本当に強いのだろうか？

ノーマライゼーション思想はどこへ去っていったのか？

先行きが思いやられる。救いは、ご利用者様の話題と笑顔だ！！

「人生恨む莫（なか）れ、人識る無きを。幽谷深山、華自（おの）ずから紅（くれない）なり」（三浦梅園の句（注））の心境です。

ご利用される人達の為にも、一層頑張らねばと思うこの頃です。

（注）「他人が自分のことを知って評価してくれなくても、嘆くには及ばない。深山幽谷に咲く花は、誰に見てもらおうという思いもなく、また誰からも顧みられることなくとも、精一杯見事な花を咲かせている」という意味。



企業の顔がはっきり見える就活情報誌 BeCAL(ビーカル)に掲載されました !!



8 P の先輩インタビューと 60 P ～ 61 P の企業紹介に、みのり村で働く職員が掲載されています。

4 名の職員がインタビューを受けました

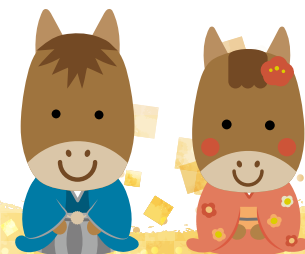
令和8年 祈願式及び年始

令和8年1月3日、正法寺に役職員が集まり、今年一年の無事故と無災害、そして「みのり村の発展」を祈る新年祈願式を執り行いました。式では、役職員を代表して、高齢者福祉部 笠置幸子課長が今年の決意表明を行いました。

続いてアクト響ホールにて開催された年始では、大木理事長より「本年は「昭和101年」という節目であり、新たなスタートと意識して業務に取り組んでもらいたい。そして、

外国人労働者、高齢者、障がい者雇用を含む多様なスタッフ間での相互扶助を徹底しながら、法人の基本方針（慈愛・奉仕・研究）を念頭に置き、柔軟な思考で利用者支援にあたること。」と訓示がありました。

最後に、日出障がい福祉部の児島課長が三本締めで会を締めました。



新年の挨拶をする大木理事長

「大分県高齢者福祉施設等実践研究大会」に高齢者福祉部が参加!!

レンブラントホテル大分にて開催された大分県高齢者福祉施設等実践研究大会にて、チーム「ゆめユニット」と「笑顔のグループ」の2チームが発表しました。(11月17日)

南立石地区協議会の方々が視察研修にお越しになりました

別府市社会福祉協議会南立石地区協議会の12名が、みのり村杵築拠点へ視察研修のため来園されました。

2時間余りの中で、法人と就労支援事業所の概要を説明後、実際に各事業所を見学されました。担当者の説明に熱心に耳を傾けられ、「緑豊かな自然に囲まれ、清潔感がある素晴らしい生活環境が整っていますね。」などの感想をいただきました。

最後に、ワークセンター「誠」が生産品を出前販売し、カボスや野菜を購入していただきました。

(9月19日)



皆さんで集合写真



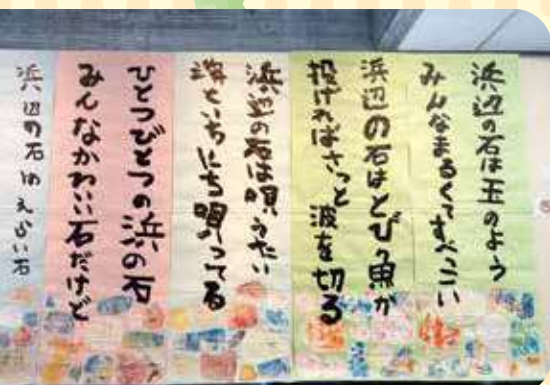
敷地内を見学



DVDで法人紹介



第21回みのり村作品展が無事終了しました！ ～ご来場の皆さまありがとうございます～



第25回 みのり村実践研究発表会を開催しました

令和7年11月26日に杵築市拠点のアクト響ホールにて、第25回みのり村実践研究発表会を開催しました。

当日は約50名の職員が参加し、各チームの発表をもとに活発な意見交換を行いました。



○高齢者福祉部 特別養護老人ホーム菩提樹

【チーム名】 ゆめユニット

【テーマ】 変わらぬ生活を続けるために

～生活に重点を置いた
レクリエーション～

○高齢者福祉部 みのり村介護・福祉タクシー

【チーム名】 笑顔のグループ

【テーマ】 安全運転で目的地までお連れします

～地域の皆様のお役に立てる
タクシーを目指して～

○杵築障がい福祉部 ワークセンター「誠」

【チーム名】 team パン工房

【テーマ】 外部移動販売への取り組み

～m・歩っのパンを多くの方へ～

○杵築障がい福祉部 白萩園

【チーム名】 春夏秋冬

【テーマ】 生活の「彩り」を！ 人生に「楽しみ」を！

～ご利用者のQOLの向上を目指して～

○日出障がい福祉部 第2みのり学園

【チーム名】 第2 LEGENDS

【テーマ】 利用者さんの心身の向上

○日出障がい福祉部 第1みのり学園

【チーム名】 楽しませ隊

【テーマ】 その人らしい楽しみを大切に

～生活の質を高める支援～

【杵築・日出】杵築市日野の社会福祉法人「みのり村」は障害者・児らが描いた絵画などを紹介する2026年の「アートカレンダー」（A3判・カラー）を作った。1部千円（消費税込み）で販売。「多くの人に購入してもらいたい」と呼びかける。

鮮やか アートカレンダー

杵築「みのり村」利用者創作



みのり村が作った「アートカレンダー」

同法人は同市と日出町の9カ所に障害者・児の支援

施設や高齢者施設を運営。利用者は毎週1回、絵画などの創作に励んでいる。年末には成果発表の場を設けており、今年も21、25日、大分市のアートプラザで「第21回みのり村作品展」（入場無料）を開く。作品展に合わせて製作して施設の関係者らに配布。今回から広く販売し、収益を利用者に工賃として還元することにした。大木隆理理事長（72）は「作品は利用者の生きている証し。自信にもなっている」と話す。

カレンダーは400部作

った。購入の申し込み、問い合わせはみのり村本部事務局（0978・66・1200）。

（吉田正史）

▲令和7年11月20日大分合同新聞掲載

▼令和7年11月23日大分合同新聞掲載

380点の作品が展覧されました

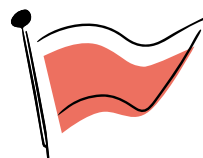


【大分】◆第21回みのり村作品展 展 大分市高揚町のアートプラザで。25日まで。入場無料。（写真）杵築市の総合福祉ケアサポートセンター「みのり村」の施設利用者たちが、クラブ活動などで制作した絵画や書道、織物など380点を展示している。高齢者や障害者、子どもたちの言葉では伝えられない思いを集めて表現した大作「みのり村」もある。

ギャラリー

担当者は「たくさんの人に見てもらうことで、次の制作意欲につながる」と来場を呼びかけている。

秋晴れの空の下 障がい児・者、高齢者の各拠点で 秋のふれあい行事を開催!!



日出障がい福祉部



杵築障がい福祉部



高齢者福祉部



活発な意見交換ができました



代表6チームが発表しました



日出障がい福祉部礼拝堂耐震補強工事が完成しました



第74回 みのり村創立記念式 及び 永年勤続者表彰



12名の職員を表彰

「第74回みのり村創立記念式及び永年勤続者表彰」を執り行い、永年勤続者として12名の方（10年表彰者が9名、20年と30年、40年表彰者がそれぞれ1名）が表彰されました。

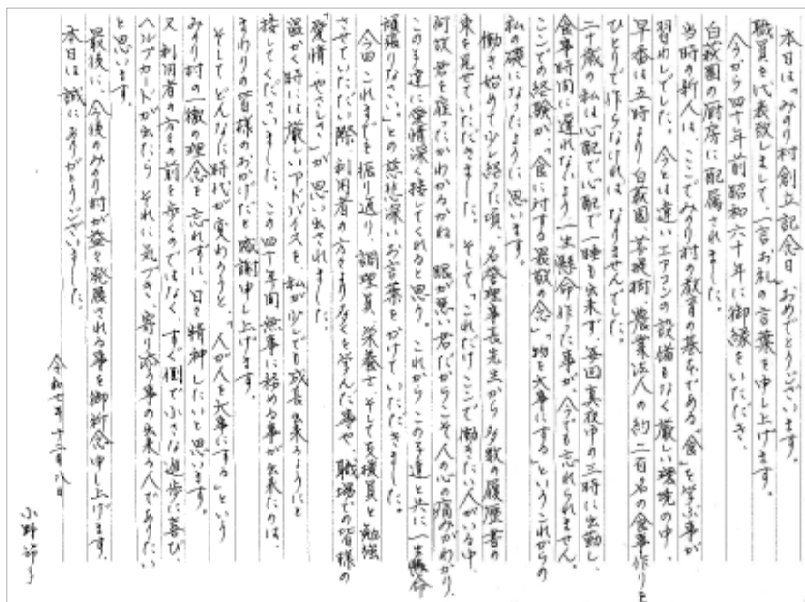
式では、職員を代表して、40年表彰者小野節子支援員より心温まる謝辞をいただきました。

「入職当時は、みのり村の教育の基本である「食」を学ぶことが習わしでした。この経験が“食への畏敬の念、物を大事にする”という私の礎になったように思います。そして、この40年間を振り返ると、職場の皆さまの“愛情・やさしさ”に支えられ無事に勤めることができました。

そして、時代がどう変わろうと、「人が人を大事にする」この一徹の理念を忘れずに精進し、ご利用者に寄り添う人でありたいと思います。」と謝辞を述べられました。

また、大木理事長より「時代が変わろうと、“ご利用者に寄り添い、ご利用者の成長を共に喜ぶ”この姿勢は変わらないです。長くお勤めの方はご利用者のことをよく理解しているので、いろいろな場面でご利用者や周りのスタッフへ良い影響を与えることができます。皆さんの力をお貸し頂き、みのり村を支えていただきたいと思います。」と訓示を述べました。

令和7年12月8日（月）



インドネシア国出身の技能実習生をお迎えしました！！



1か月の日本語研修を終えたインドネシア国籍の技能実習生9名の辞令交付式を行いました。(12月1日)

元気で明るい9名



第14回 介護ってすばらしい



フォトコンテストに参加しました



奨励賞作品1



奨励賞作品2



菩提樹とデイサービスの普段の様子を出品しました



10月稲刈りが無事に終わりました(^^)



総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- ・特別養護老人ホーム菩提樹
- ・ショートステイ事業（空床型）
- ・住宅型有料老人ホーム菩提樹
- ・菩提樹デイサービスセンター「風と樹々と空と」
- ・ケアプランセンターぼだいじゅ
- ・ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
- ・配食サービス
- ・介護・福祉タクシー
- ・児童発達支援センター「プリンちゃん」
- ・障がい者支援施設 第1みのり学園
- ・障がい者支援施設 第2みのり学園
- ・障がい者支援施設 白百合園
- ・障害福祉サービス事業所 みのりスマイル
- ・みのり村 M プラザ（相談支援）
- ・障がい者支援施設 白萩園
- ・障害福祉サービス事業所 ワークセンター「誠」
- ・いち押し工房
- ・えむほガーデン（Café m・歩っ・えん）
- ・グループホーム みのり村
- ・交流センター アクト響ホール

障がい児から成人、そして老後までの 安心トータルサポート

編集後記

この季節に思うのは、卒業式、そして新たな旅立ちでしょうか？

小生も小学校の入学式に、少し大きめの制服やランドセルに身を包み、満開な桜を見ながら、わくわく感と緊張で校門をくぐった記憶があります。

この年度末、少しそわそわとした空気の中で、今回の編集を終えました。

改めて、今年度編集に関わったスタッフの方々に感謝を申し上げます。

この広報誌が皆様に届く頃には、入村式の採用辞令を受取り、各部に配属されている事でしょう。皆様には広報誌を通じて、その一歩を応援していきます。

広報担当

編集・発行／本部事務局

〒 873-0013

大分県杵築市大字日野 1921 番地の 7

電話：0978-66-1200

FAX：0978-62-2974

URL <http://www.minorimura.or.jp/>

※写真掲載には、
本人の了解を得ております。

管理職向け理事長講話を行いました(7月29日)



管理職 13 名が参加

菩提樹デイサービスセンターに新しく導入した運送車両の安全を祈願する(10月24日)



第44回 みのり村初盆会法要

令和 7 年 8 月 20 日（水）「みのり村初盆会法要」を行いました。法人内の事業所のご利用者の精霊を、参加者全員でご供養させて頂きました。



26 名の精霊をご供養しました

大分短期大学の園芸療法イベント "welcome garden" みのり村の就労支援事業所が参加しました



パークプレイス大分で出店



村の特産品を販売しました